

令和 7 年度 武蔵野小学校 研究構想図

研究主題「自ら思考、判断し、豊かに表現できる児童の育成」

（令和 6 年度）副主題～児童が自分ごと化できる特別の教科 道徳を通して～  
（令和 7 年度）副主題～児童が多様な考えに気づき、自分の考えを見つめ直すための指導の工夫～

羽村市立武蔵野小学校 学校経営方針 〈グランドデザイン〉【目指す学校像】  
「元気いっぱい笑顔でつながる武蔵野小」 三者（子供・保護者、地域の方々・教職員）が笑顔で過ごせる地域の学校

羽村市立武蔵野小学校 学校経営方針 〈グランドデザイン〉【目指す子供像】

○よく考える子…何事も自分ごととして捉え、自ら学びに向かい表現を楽しめる子  
○思いやりのある…むさしのリーダーシップを身に付け、自他を尊重し、大切にできる子  
○健康な子…基本的な生活習慣を身に付け、運動に親しみ、心身ともに活力に満ちた子  
「エンパシー」を意識してコミュニケーション能力を磨き、「言葉の力」を活用しながら、子供たち同士、教員同士、教員と子供、学校と家庭・地域、武蔵野小と第三中学校、それぞれが本音で語り合える、風通しの良い関係を構築していきます。また、指導においては、共通認識、共通理解、共通実践を推進し、「チーム武蔵野」として自分ごとと捉えながら一貫した指導を行い、時と場所が変わっても児童が自信をもって行動できるよう自己有用感を高める指導を進めていきます。  
学びの基盤である「言葉の力」に注力し、物事を自分ごととして捉え、考え、行動できる児童の育成を目指します。

【児童の実態】（令和 6 年度）  
本校の児童は、授業に対して同じスタートラインから始めることができない実態がある。休み時間のトラブルや友達同士の関係を消化できず、抱えたまま授業に参加している児童が多い。感情のコントロールができずその気持ちのまま授業に参加したり、人によって態度を変えてしまったりという課題がある。

【教師の願い】（令和 6 年度）  
特別の教科道徳の「B 主として人と人との関わりに関すること」を題材に、授業中に振り返りを記述しながら自分自身を見つめ直す活動を日々行う。授業の内容項目について受け止め、自分自身の過去や未来について振り返ることが、児童のよりよい学びにつながるのではないかと考える。

【研究仮説】（令和 6 年度）  
道徳の授業における内容項目を理解させる手立てを工夫することで、児童が自ら思考、判断し、自分ごととして表現できる力を育成できるであろう。

【研究の進め方】1 年目  
内容項目を「B 主として人と人との関わりに関すること」に絞る。「心情の変化を表すワークシート」や「揺さぶる発問」「ロールプレイ」等の手立ての工夫を通して、児童が自分ごと化として、考えを深めることができるようにする。

【研究の進め方】2 年目  
1 年目の基礎研究を基に、児童の「心の育成」を主眼におく。特別の教科道徳の内容項目において、各学級・各学年の教員（担任）が、それぞれの児童の実態を見取り、実態に適していると考ええる内容項目を行う。児童の変容を、年度末に見取り、成果・課題とする。

【研究仮説】（令和 7 年度）  
多様な意見や考えを知る場面を設定したり、自分の考えを見つめ直したりする時間を設定するなどの指導を工夫することで児童の思考力が高まり豊かに表現できる児童を育成できるであろう。

【教師の願い】（令和 7 年度）  
1 年目の研究を受け、各学年児童の重点項目を再考した結果、内容項目 B「主として人と人との関わりに関すること」だけでなく、内容項目 A「主として自分自身に関すること」や価値項目 C「主として集団や社会との関わりに関すること」に広げてを置き指導を行う必要があると考える。

【児童の実態】（令和 7 年度）  
1 年目の研究を受け、自分の考えをもつことができるようになった児童が増えたと考える。一方、研究主題である「豊かに表現すること」には、課題が残ると考える。本校児童には、教材を自分ごととして考えられるが、友達の考えを受けとめ、自分の考えを見つめ直すことや思考を再考できる力を育てる必要がある。

| 学年団 | 目指す児童像【1 年目】                           |
|-----|----------------------------------------|
| 低学年 | 内容項目を受け止め、生活に照らして振り返り、自分の考えを伝えられる児童    |
| 中学年 | 内容項目を理解し、自己の在り方について振り返り、表現できる児童        |
| 高学年 | 道徳的諸価値について理解し、自己の生き方についての考えを深め、表現できる児童 |

| 学年  |     | 重点的に取り扱う内容項目             | 目指す児童像【2 年目】                                           |
|-----|-----|--------------------------|--------------------------------------------------------|
| 1 年 | A   | 善悪の判断、自律、自由と責任           | 内容項目と自分の生活を結びつけて考えられる児童                                |
| 2 年 | B   | 友情、信頼                    | 多様な意見を受け入れ、自分の考えをもち表現できる児童                             |
| 3 年 | A   | 善悪の判断 節度、節制              | 多様な考えを認め合い、自分の考えを表現できる児童                               |
| 4 年 | A   | 正直、誠実 希望と勇気、努力と強い意志      | 自分の意見と友達の意見を比べて、多様な考えに気付く児童                            |
| 5 年 | B・C | 誰かのために行動できる人             | 相手意識をもち、集団の中での自分の立場について考えを深め、前向きに表現できる児童               |
| 6 年 | B・C | 相互理解、寛容 よりよい学校生活、集団生活の充実 | 多面的・多角的に物事をとらえ、様々な考えを認め合い、自分の考えを振り返ったり、再構築して表現したりできる児童 |

